

IMI 2023 ホワイトペーパー イントロダクション

Dr Nina Tahhan

PhD, MPH, B.Optom(hons)

IMI プログラムディレクター

BHVI, ニューサウスウェールズ大学、オーストラリア

IMI のホワイトペーパーは、近視の発症と管理に関する増え続ける、そして、時には相反するエビデンスに基づいて、臨床管理のガイダンスとコンセンサスの必要性が高まっていることに応えるために発行されています。ホワイトペーパーという形で最新のエビデンスの統合・合意・更新を行うことは、進化し続ける膨大なエビデンスをふるいにかけて、最新の知見を実際の臨床にどのように適用すべきかを理解し、最適かつ効果的な治療戦略を実施するうえで重要です。こういった最新の知見をアップデートする時間やリソースを持たない現場の臨床医にとって、ホワイトペーパーは重要なリソースとなります。IMI の記事に関連するインフォグラフィックは、すべて無料で利用できるもので役に立ちます。また、現在の知識のギャップを強調することで、継続的および将来の研究の指針を提供します。

2023 年に発行されたこの第 3 シリーズのホワイトペーパーは、注目を集めている近視研究と管理の重要な分野を以下に示す内容で特集しています。

- ・ 報告と研究がまだ十分にされていないグループに対する近視の発症、進行、および管理に関するエビデンス：
 - ・ 若年成人
 - ・ 小児（5 歳未満の幼児および未就学児）
- ・ 近視の進行とコントロールにおける脈絡膜の役割に関する新しいエビデンス。この分野のエビデンスが増えています。特に研究結果をどのように実臨床に適用できるかを理解するのに苦労している臨床医にとって、この分野は注目が集まっています。
- ・ 近視における病的ではない眼の変化の徹底的な特徴付け。これは、軸方向の眼軸長伸長のメカニズムをさらに解明し、二次的に生じる病的変化をよりよく理解するのに役立つ可能性があります。

さらに、ホワイトペーパーには、実臨床における近視管理に対する姿勢と戦略に関する国際的な実務者調査の結果に関する報告が含まれています。この論文は、過去 10 年間で近視管理に関する実践方法と向き合う姿勢がどのように変化したかを、他の同様の、以前に発表された調査結果に基づいて反映しています。最新の結果は、単焦点眼鏡とコンタクトレンズが依然として最も処方されている矯正方法であることを示していますが、近視管理に関連する臨床活動、例えば近視進行抑制装置や治療法の処方が増加しているようです。進行する近視に対する標準的なケアとして近視管理を確立するためには、世界中でもっと多くのことを行う必要があります。

急速に進化する分野に関する最新の動向を把握するために、2019年のダイジェスト以来の近視研究の主要トピックに関する新しい発見が専門家によってレビューされ、IMI 2023 ダイジェストとして要約されています。

2050年までに、世界人口のほぼ3分の1が近視になると予測されており、そのうち10%はマイナス5ディオプターを超え、視力を脅かす合併症や視覚障害のリスクが高くなります。近視の強弱に限らず、すべての近視が重要です。したがってすべての臨床医は、患者、その家族、コミュニティ、および広範な社会の生活の質と幸福を改善するために、エビデンスに基づいた近視管理を導入することを支援され、奨励されるべきです。これらの変化を実現するために努力しているすべての人々に感謝し、これらの努力に貢献して下さったすべての人々に感謝します。また、これらの努力に参加したいと考えているすべての方々に参加を呼びかけます。

謝辞

IMI タスクフォースメンバーのリストおよび IMI ホワイトペーパーのリストは myopiainstitute.org でご覧いただけます。出版および翻訳費用は、BHVI、ZEISS、EssilorLuxottica、CooperVision、Alcon、HOYA、Théa、および Oculus からの寄付によって支援されました。

翻訳者：後藤聡(MD, PhD, MPH, 大阪大学)

参考文献

Nina Tahhan, James S. Wolffsohn, Padmaja Sankaridurg, Jost B. Jonas, Mark A. Bullimore, Ian Flitcroft, Lisa A. Ostrin, Christine Wildsoet, Serge Resnikoff; Editorial: International Myopia Institute White Paper Series 2023. Invest. Ophthalmol. Vis. Sci. 2023;64(6):1. doi: <https://doi.org/10.1167/iovs.64.6.1>.

お問い合わせ

Brien Holden Vision Institute Ltd
Level 4, North Wing, Rupert Myers Building, Gate 14 Barker Street,
University of New South Wales, UNSW NSW 2052
imi@bhvi.org